

Interview 自主防災会にお話を伺いました



向切田自主防災会
会長・白山 春男さん
地域の連携が減災につながる

向切田自主防災会は、地域が連携し、安全を確保するため、昨年7月に設立しました。設立前から防災活動は行って、豪雪のときは除雪作業を協力し合ったり、川が氾濫したときは、点呼を取って会員の無事を確認するなどしています。これは、普段からのコミュニケーションが生きていると思います。災害が起こったとき、被害を最小限に抑えるためには、自分たちが動き、連携して地域を守っていかねばなりません。今後、毎年避難訓練を行い、薪ストーブや発電機の確保、井戸の水質調査などにより、いざというときに備えていきたいです。

取って会員の無事を確認するなどしています。これは、普段からのコミュニケーションが生きていると思います。災害が起こったとき、被害を最小限に抑えるためには、自分たちが動き、連携して地域を守っていかねばなりません。今後、毎年避難訓練を行い、薪ストーブや発電機の確保、井戸の水質調査などにより、いざというときに備えていきたいです。

は街頭に消火器を設置したり、初期消火訓練を行っていました。現在は、市の助成で発電機を購入し、使用訓練を行っているほか、今年度から活動を見直し、防災活動を盛り上げていこうと意気込んでいます。また、1月には市で初めて防災士養成講座が開催され、各自主防災組織を中心に新たに30人の防災士が誕生、防災士がリーダーとなって、防災力の強化を図っています。このように市内でも防災活動が活発化しています。

地域とのつながりの重要性を再認識

地震や豪雨、大雪、火災など災害は突然起こります。いざというときに真っ先に行動できるのは、地域住民の皆さんです。地域とのつながりが希薄になって今、地域のつながりの重要性が再認識されています。日ごろからコミュニケーションを取り合うことが大切です。地域の安全は、地域住民の絆で守られています。



初期消火訓練を行う十和田市連合防災会の皆さん

地域の安全は地域で守る 求められる「地域防災力」

想定外の大規模災害だった東日本大震災。以降、大規模災害に対応できるよう防災活動の取り組みが各地で行われています。特に今、求められているのは「地域防災力」の向上です。被害を最小限に抑えるためには、災害が起こった直後、真っ先に対応できる地域住民の皆さんの力が必要です。今回、地域防災力のかなめである「自主防災組織」を紹介します。

地域で協力し合い、被害を最小限に

大規模な災害が発生したとき、消防や警察などの公的機関による救助や支援（公助）だけの対応には限界があります。災害時は「自分の身は自分で守る」（自助）と、地域や近隣がお互いに協力し合うこと（共助）により、早急に災害への対応ができ、被害を最小限に抑えることが「地域防災力」です。

地域防災力のかなめ 自主防災組織

地域防災力の中核を成す組織が町内会などで構成される「自主防災組織」です。地域防災力の向上と防災・減災対策において、重要な役割を果たします。自主防災組織は、単一町内会や近隣の町内会などで構成されています。災害のときに即座に対応できるよう、普段から避難場所の確認や点呼の取り方、資機材の確認などを自主的に行い、災害発生時に対応できるように取り組みを行います。

市内でも進む 自主防災組織化

市内では、昨年度16団体の自主防災組織が設立され、現在26団体が活動しています。昭和55年に設立した西部小稲自主防災会では、以前

自主防災組織を設立しませんか



自主防災組織について

- ▼町内会または近隣の町内会との共同組織として、平時や災害時の活動ができること
- ※戸数の少ない町内会は、近隣の町内会との共同設立が望ましいです。
- ▼活動拠点（集会所など）があり、災害時に地域住民の一時的な集場所とできること
- ※新設した自主防災組織には、防炎用資機材整備のために市から助成金が交付されます。

自主防災組織の設立を希望または検討している町内会などは、お気軽にお問い合わせください。 総務課防災係 ☎6703

「十和田市地域防災計画」を修正しました 総務課防災係 ☎6703

市は、平成17年度に策定した「十和田市地域防災計画」を、東日本大震災を踏まえ、大規模災害に対応するために内容を修正しました。

■主な修正点

- ①「自主防災組織の育成強化」を推進
「地域防災力」の向上を図るため、町内会などで組織される「自主防災組織」の設立や既存の団体の育成強化を推進します。
- ②災害時要援護者の名簿の作成
一人暮らしの高齢者や障害のあるかた、妊婦など災害時に特に避難支援を必要とするかたの名簿を作成します。



「防災マップ」を改訂しました

「十和田市地域防災計画」の修正に合わせて、防災マップを改訂しました。今月号と一緒に配布していますので、自分の避難場所を確認し、いつでも見られるような場所に置いて活用しましょう。



※「十和田市地域防災計画」の改訂版と「十和田市防災マップ」は総務課に備え付けているほか、市ホームページからダウンロードできます。

■ 平時や災害時の活動

- ① 防災訓練
初期消火訓練や救出方法、救護、炊き出し、避難誘導などの訓練
- ② 災害時要援護者の確認
一人暮らしの高齢者や妊婦など災害時に一人で避難することが困難なかたを事前に把握し、確認
- ③ 防災資機材の整備
発電機や消火器などの確保
- ④ 情報の収集や伝達
...など